

川崎市総合教育センター 所報

川崎市総合教育センター

〒 213-0001 川崎市高津区溝口 6-9-3

Tel 044-844-3600

代表メール KEI30201@to.keins.city.kawasaki.jp

19年7月 新しくなりました! ゆうゆう広場「あさお」

市内では現在「さいわい」「たま」「あさお」の3ヶ所のゆうゆう広場（適応指導教室）が開設されています。

その中の1つであるゆうゆう広場「あさお」（以下「あさお」という。）は、平成 11 年 1 月に小田急線沿線及び宮前区在住の不登校の状態にある子どもたちへの居場所として開設され、新百合 21 ビル内の地下 2 階の 2 室を生涯学習財団から賃借し活動を続けてきました。

平成 18 年度末に賃貸契約先の生涯学習財団の撤退に伴い「あさお」も移転することとなりました。いくつかの候補地を比較検討した結果、麻生区上麻生 4-25-1（麻生中学校南側地）が選定され、今年の 7 月に現在の場所に移転しました。

この土地は約 2000 m²の広さがあり、「あさお」だけで使用するにはかなりのゆとりがあります。そこで、半分の土地を「あさお」の敷地として利用し、残り半分の約 1000 m²の土地は近隣の小・中学校に学校農園として貸し出し、収穫した作物は隣接する「あさお」2 階の調理室で調理するなど、食育研修となる「地産地消」が具体的に実践できる場として有効に活用していきます。

「あさお」の建物は 2 階建てで、1 階には学習室・プレイルーム・相談室・事務室があり、2 階には相談室のほかに食育研修用としての調理室があります。敷地内には約 35 m²の「あさお」専用の畑があり、何種類かの野菜を育てています。収穫した野菜は、調理実習の時間に調理して、みんなで食べる予定です。



「あさお」移転により、新しい場所にうまく適応できない子どもが出るのではないかと心配していましたが、みんなすぐに新しい建物にも慣れ、以前と比べると明るく行動的になったようです。

今後も「あさお」を含め、3つのゆうゆう広場では不登校の子どもたちの活動場所、居場所として支援・援助を続けていきたいと思っています。

平成 19 年度 川崎市総合教育センター 『所報』 第 2 号 主な内容

| | | | |
|--------------------------------|---|--------------------------|---|
| 〈コラム〉 柴崎先生（専門員）…………… | 2 | 〈各室から〉 | |
| 〈紹介〉 平成 19 年度外国語指導助手（ALT）…………… | 3 | 幼児教育センター・特別支援教育センター…………… | 7 |
| 平成 19 年度総合教育センター研究会議一覧…………… | 4 | 情報・視聴覚センター…………… | 8 |
| 平成 19 年度総合教育センター指導主事研究…………… | 6 | | |

子どもたちの成長を支えていくために

総合教育センター専門員（幼児教育センター）

大妻女子大学教授 柴崎 正行



みなさんもお存じのように教育基本法が改正され、家庭教育や幼児教育の項目が新たに加わりました。またそれに伴い学校教育法も改正され、それまで最後に付け足しのように位置づけられていた幼稚園が学校のトップバッターとして小学校の前に位置づけられました。さらには同法における幼稚園教育の定義として、小学校及びそれ以降の教育の基礎を培う場として位置づけられました。それに伴い、今回の幼稚園教育要領の改訂や保育所保育指針の改訂の柱のひとつとして、小学校との円滑な接続が取り上げられ、大きな関心を呼んでいます。

この数年間におけるこうした変化は、何を意味しているのでしょうか。単なる法律改正として捉えるのでは、子どもたちの実態が何も見えてこないと思います。そこには社会や環境の変化、あるいは行政制度の壁や段差に苦しむ子どもたちの悲鳴が浮かび上がっているのです。今の子どもたちは現在の社会環境では、私たちの子ども時代のように自然に出会い友だちと思いきり遊びたいと思っても、それは不可能に近いのです。それが体験できるのは、保育所や幼稚園の園庭しかない、とさえ思えるのです。そこすらも事故を避ける安全志向や病原菌 0-157 問題による衛生志向で、危機的な状況を迎えています。

小学校教育では体力の低下、友だち関係の希薄化、規範意識の喪失、そして何よりも学ぶ意欲の低下が叫ばれています。でもその背景には幼児期に友だちと身体を思い切り動かして遊び込む中で様々な実体験を積み重ねること、仲間とのトラブルを解決するために自分たちでルールを作り守ること、仲間と目的を実現するためには役割を分担したり協力することが必要なこと、などを体験できないままに就学していく子どもたちの現実が横たわっているのです。

子どもたちが成長するために必要な体験を、保育所や幼稚園で体験できるように、私たち幼児教育関係者も場や機会を真剣に守り伝えていかなければなりません。しかし幼児教育関係者の努力を温かな眼差しで見守り、次の学童期にその体験を生かしてくださる小学校教育関係者がたくさんいなければ、それは実現できないのです。そのために現在は、私たち保育関係者や教育関係者が職種や校種を超えて、幼児期に何を体験することがその後の成長に欠かせないことなのかをもう一度熟考し、その体験ができる環境を次世代に守り伝えていかねばならないぎりぎりの時といえるのです。

平成19年度 公開教養講座

音色は感性を磨く ～演奏とお話～

ピアニスト 小川典子 さん

〈日 時〉平成19年12月15日（土） 14:00～16:00

〈会 場〉川崎市総合教育センター 第1研修室

〈お問合せ〉川崎市総合教育センター 公開教育講座係

◎たくさんの参加申込をいただき、定員満了となりました。
ありがとうございました。



平成19年度
(2007年9月~2008年3月)

外国語指導助手 (ALT)紹介



●中学校

| グループ | A L T 名 | 配置校 (ベース校) |
|------|--------------------------------------|-------------------|
| 第 1 | Mr. Ian Vetter イアン・ヴェター | 臨港・大師・川中島 |
| 第 2 | Mr. Chris Kearton クリス・キートン | 渡田・田島・南大師・御幸 |
| 第 3 | Mr. Andrew Forster アンドリュー・フォスター | 塚越・富士見・川崎 |
| 第 4 | Ms. Alison Lloid アリソン・ロイド | 日吉・南加瀬・中原・桜本 |
| 第 5 | Ms. Erica Grainger エリカ・グレンジャー | 住吉・西中原 |
| 第 6 | Ms. Michele Cheng ミッシェル・チェン | 玉川・南河原・京町・東高津・川崎高 |
| 第 7 | Mr. Norman Cook ノーマン・クック | 東橋・今井・平間 |
| 第 8 | Mr. Matthew Evans マシュー・エヴァンス | 橋・井田・宮内 |
| 第 9 | Mr. Clayton Mularczyk クライトン・ムラーツキ | 西高津・宮崎 |
| 第 10 | Mr. Terrance Tobas テランズ・トバス | 平・稲田・向丘 |
| 第 11 | Ms. Jula Pollit ジュラ・ポリット | 犬蔵・有馬・高津 |
| 第 12 | Mr. Steven Eagle スティーヴン・イーグル | 生田・野川・菅生 |
| 第 13 | Mr. Mark Tsohas マーク・ツオハス | 栢形・宮前平・南生田 |
| 第 14 | Mr. Scott Jordan スコット・ジョーダン | 長沢・西生田・菅 |
| 第 15 | Mr. Brian Hughes ブライアン・ヒューズ | 金程・南菅・王禅寺・白山 |
| 第 16 | Mr. Jon Steven ジョン・スティーヴン | 麻生・白鳥・柿生 |

●高等学校等

| | A L T 名 | 配置校 |
|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 高校 | Mr. Matthew Rosandich マシュー・ロザンディッチ | (月)(火)(木) 川崎高校、 (金) 橋高校、(水) 商業高校 |
| 高校 | Mr. Evan Jones エヴァン・ジョーンズ | (月)(木) 橋高校、 (火)(水)(金) 高津高校 |
| 高校 | Mr. Henrik Lingman ヘンリック・リングマン | (月)(水)(金) 総合科学高校、 (木) 商業高校、(火) 小学校 |
| 小・中 | Ms. Khushuboo Patel クシュブー・パテル | (月)(金) 西丸子小、 (水) 東生田小 (火)(木) 中野島中 |

平成19年度 総合教育センター 研究会議紹介

研究総括主題 「一人一人がいきいきと輝く川崎の教育の創造」

研究会議名

長期研修員制度とは？

長期研修員が中心となり、各校種の研修員とともに一年間研究にあたります。その研究は、川崎の学校現場に役立つ内容を目指して取り組んでいます。

- 「研究テーマ」
- メンバー(☆印が長期研修員)
- その他

国語科 研究会議

「漢字を活用する力を育てる学習指導の研究」

- ☆井尻富美代(南加瀬中)
- 堀井英之(南加瀬小)
- 中村章子(野川小)
- 杉本直美(西高津中)



○子どもが、漢字を「さがす」「集める」「調べる」「あそぶ」「学ぶ」「使い慣れる」…。漢字を活用する力を育てる効果的な学習指導を研究しています。

社会科 研究会議

「自ら考え判断できる子どもを育てる社会科学習」

- ☆多和田律子(富士見中)
- 山本憲広(長尾小)
- 白子由紀(新城小)
- 鈴木正博(有馬中)



○子どもの心を揺さぶることによって「思考活動」と「知識の獲得」が螺旋状につながり、思考力・判断力が育成できるのではないか、ということ进行研究しています。

生活科 研究会議

「生活科における表現活動を生かした指導の在り方」

- ☆小林美代(高津小)
- 原園香洋子(平間小)
- 吉田祐子(子母口小)
- 弓削奈津子(大谷戸小)



○具体的な活動や体験から生まれた子どもの表現物を教材として子どもに返し、次の活動や体験に生かす指導法を探っています。

音楽科 研究会議

「音楽のおもしろさやよさを感じ取る力が育つ
音楽科学習の在り方」

- ☆近清えり子(坂戸小)
- 西田裕子(高津小)
- 内田道子(御幸中)
- 鈴木美代(中野島中)



○音楽の魅力に迫るために、音楽の諸要素に視点を当て、感じ取る力を育てる音楽科の学習の在り方について研究を進めています。

英語科 研究会議

「第二言語習得の認知プロセスに基づいた
内容中心教授法によるコミュニケーション能力の育成」

- ☆伊藤敏明(有馬中)
- 植村利英子(東高津中)
- 橋本慎一(平間中)
- 平谷泰美(御幸中)



○教科書本文をどのように扱えば、英語習得に役立つのか？ 近年の研究成果の示唆を活かしながら研究を進めています。

道徳 研究会議

「生きる喜びを感じることができる道徳教育」

- ☆水之江忠(京町小)
- 小川朋子(子母口小)
- 会澤貴裕(西生田中)
- 丸山真一郎(犬蔵中)



○「いのち」とはどのようなものだろう。このことを子どもたちと一緒に考える中で、生きる喜びを感じさせたい。そのような気持ちで、研究に取り組んでいます。

特別活動 研究会議

「望ましい人間関係を育む
参加・体験型プログラムの作成」

- ☆渡部義昭(生田中)
- 中尾和美(下平間小)
- 齊野保史(四谷小)
- 新井紀代美(南河原中)



○発達段階に応じた人間関係作りを行うために、川崎市の子どもの実態に合った9年間通しての参加・体験型プログラムを作成しています。

高校教育 研究会議

「コミュニケーション能力の育成をめざした指導方法の工夫」

- ☆石原美奈子(商業高校)
- 関根泰三(川崎高校)
- 鈴木純子(川崎総合科学高校)
- 石川 毅(橘高校)



○聞く・話す場面や経験を多く取り入れた教材の開発を目指して、研究に取り組んでいます。

ICT教育利用 研究会議

「児童生徒の興味・関心を高めるための
ICTを活用した指導方法に関する研究」

- ☆藤澤泰行(中野島中)
- 小泉健一郎(平間小)
- 清水弘彦(下小田中小)
- 頼 一輝(玉川中)



○普通教室で、ICTの活用をより日常的にすることを目標に、研究に取り組んでいます。

学校教育相談 研究会議

「教育相談的かわりにおける
教師の自己表現力の向上をめざして」

- ☆小久保裕之(高津小)
- 石郷岡亜矢子(東生田小)
- 松本崇(枳形中)
- 小堤紀子(宮前平中)



○授業での子どもの成長発達に寄与する、教師の言葉かけのありかたについて研究しています。

特別支援教育 研究会議

「通常の学級における特別な教育的ニーズのある
児童に対する支援のあり方」

- ☆石橋瑞穂(東大島小)
- 池田靖(菅生小)
- 吉原由紀子(稲田中)
- 大久保愛(犬蔵中)



○様々な特別な教育的ニーズの中でも、特に小学校における読み書きの学習支援のあり方について研究しています。

健康教育 研究会議

「たくましく生きる力をはぐくむ健康教育をめざして」

- 宮澤陽子(西丸子小)
- 久光明子(南大師中)
- 木村めぐみ(富士見台小)
- 安田幸(西高津中)



○外傷に対する知識を深め、意識の向上をめざしたアプローチの方法を探ることをサブテーマに、研究に取り組んでいます。

幼児教育 研究会議

「幼児期から児童期へ育ちをつなぐ」

- 野村真理子(子母口小)
- 佐藤園子(西梶ヶ谷小)
- 高橋美幸(新城幼)
- 桜井伸子(生田幼)



○幼稚園から小学校へ、発達や学びの連続性を踏まえた食育指導の在り方について研究に取り組んでいます。

情報モラル教育 研究会議

「携帯電話の光と影」

- 安部亮太(有馬小)
- 吉田一弘(高津中)
- 林美登利(日吉小)
- 乾和弘(長沢中)



○子どもたちにとって身近になっている携帯電話について、学校教育の中でどのような形で扱っていくかを研究しています。

専門研修員研究

「定時制高校生における
自己概念及びストレス
対処過程の特徴と効果
的な指導のあり方」

- 吉田宏
(高津高)



カウンセラー研修員研究

「中学校における
教育相談の在り方
(生徒の視点に
立った教育相談)」

- 山田英児
(宮前平中)



児童生徒の豊かな人間関係を育てるために

■全センター横断研究

—「いじめ」の現状;10年前との比較を通して—

「いじめ」の問題を人権尊重教育の重要な問題としてとらえ、研究に取り組んでいます。18年度のいじめの実態調査の結果分析、また、10年前のいじめの調査との比較調査により、指導・支援上の課題を見出し、教師と児童生徒、児童生徒同士の間人間関係を豊かで思いやりのあるものにすることをめざす指導に資する資料の作成に取り組んでいます。

幼児期の保育の充実と支援をつなぐ在り方を探る

■幼児教育センター

—個別の指導計画とサポートノート活用に向けた取り組み—

川崎市では、平成16・17年度文部科学省の地域指定研究として「幼稚園等における障害のある幼児の受け入れや指導に関する調査研究」を行いました。本会議では、その研究成果の具体化の1つとして、個別の指導計画とサポートノート活用に向けて、幼児教育機関と連携し、個別の指導計画等に関する資料集の作成に取り組んでいます。

川崎市の不登校児童生徒への支援に関する調査研究

■教育相談センター

—「中1ギャップ」を生まないための取り組み—

不登校の未然防止は学校における大きな課題となっています。とりわけ中学校入学後に不登校生徒数が急増する傾向にあることから、中学校1校の1年生と同じ学区の小学校3校の6年生を対象に、学校好き尺度による質問紙調査と大学生・大学院生ボランティアによる相談・支援活動を通じて、不登校の未然防止に向けた実践的調査研究を行っています。

特別な教育的ニーズがある児童生徒が在籍する

■特別支援教育センター

通常の学級における授業の在り方

平成19年度より特別支援教育が学校教育法に位置づけられました。本研究では、特別な教育的ニーズがある児童生徒が在籍する学級での支援の全体像を捉えた上で、必要な支援を可能な範囲で盛り込み、すべての児童生徒が積極的に参加できる授業の構成について検討し、実際の授業について検証していきます。

教員のICT活用指導力向上のための手立て

■情報・視聴覚センター

—ICT活用指導力の新評価基準をもとに—

ICT活用指導力の新評価基準を基にした「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」が全国で初めて実施されました。この調査の結果から、実態等の傾向を把握した上で、川崎市の教員のICT活用指導力を分析し、向上のための研修内容の見直しと新たなプログラムを研究しています。



集団体験しませんか！！

幼児教育センター

幼児教育センターには、幼稚園入園に関わる相談が数多く寄せられます。その中に、「転居してきたが、どこの園にも入れない」「経済的に幼稚園入園は難しい」等、希望していても様々な理由で入園できずに就学を迎える子どもたちの姿がありました。

このような親子が安心して入学が迎えられるような支援を目指して、平成18年度に『集団体験しませんか！！』という形で実施した「集団体験活動」は、川崎市立新城幼稚園を会場に16組の参加がありました。（市内集団体験未経験者の約1割）

保護者懇談では、学校生活への不安が出されましたが、その解消に向けた話し合いを通して、活動に参加しての効果や意義についても確認されました。これらを受けて、平成19年度も右概要の通り、「集団体験活動」を行います。

*案内チラシは、就学時健診時に全家庭に配布されています。

ねらい：親子が安定した気持ちで就学を待つ

集団生活のルールやマナーを知り、友だちと一緒に遊びや活動を楽しむ

対象者：平成20年4月に入学予定で現在幼稚園・保育園に通っていない5歳児と保護者

活動期間：平成20年1月9日～

3月19日までの全6回

活動時間：14時～16時

活動場所：川崎市立新城幼稚園



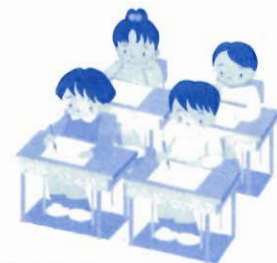
- ☆主な活動は
- ・集まりの会
 - ・リズム遊び
 - ・工作
 - ・ゲーム
 - ・外遊び 等

特別支援教育センターより

特別支援教育体制充実事業 今年度の重点目標

- 1、保護者に対して、特別支援教育の広報をする
- 2、保護者に対して、教育相談の窓口を明示する
- 3、校内委員会の実施

- ①特別な教育的ニーズがある児童生徒の実態把握
- ②上記の幼児児童生徒に対しての支援方法の検討
- ③校内委員会としての成果の検証



多くの学校で、すでに1, 2の目標が達成されているという報告がありました。3については、各校の校内体制の状況によって、課題が出てきているようです。課題解決、更なる充実に向けて、特別支援教育センターの504研修や巡回指導員制度もご利用ください。

サポートノートを作りましょう！

特別支援学級では、サポートノート「個別の教育支援計画」（個別の指導計画を含む）を作成します。

通常級に在籍する特別な教育的ニーズがある児童生徒に対しても、保護者からの要望により作成します。

個別の指導計画を作成することで、指導のポイントが整理され、保護者と学校との共通理解を図りつつ、計画的・継続的な指導が可能になります。

サポートノートの書式及び記入例は、特別支援教育センターのイントラページよりダウンロードできます。





情報・視聴覚センター 校務用コンピュータ導入しました!

平成19年度教員の校務用コンピュータの導入が小・中・特別支援学校で完了いたしました。校務の効率化、情報セキュリティの向上に役立てていただければ幸いです。今後、一人一台の配置を目指して、導入を計画しています。

■コンピュータを適切に使い分けましょう!

教育用コンピュータ

教材作成
教材研究
授業準備

校務用コンピュータ

A-LOCKY なし
個人情報・重要情報
を含まない一般校務

A-LOCKY 有 暗号化
個人情報・重要情報
を含む校務

管理職の許可

- ・個人情報ファイルの持ち出し
- ・A-LOCKY 認証キーの貸出

■校務用コンピュータ活用支援ページ開設しました!

校務用コンピュータの運用方法、A-LOCKY について、Q&A など活用支援のためのページを開設しました。センタートップページからリンクします。是非ご覧下さい!

■校務用コンピュータ活用夜間研修

内容: 校務 PC の運用、A-LOCKY の操作説明
日程: 12/14(金)。1/25(金)。2/13(水)
18:30~ 場所: 総合教育センター

■(新規整備) 普通教室用コンピュータが 校内 LAN 敷設校に導入されました!

ネットティ等で校内 LAN の敷設が完了している学校に普通教室用コンピュータを導入しました。児童生徒の学習用ですので、ルールやマナーを決めて、学習等に大いに役立ててください。

★普通教室用コンピュータ活用支援ページも
開設しました!

PC はデスクトップ型でセキュリティラック
に格納し、施錠することが可能です。



作品募集中!

第25回 わが町かわさき映像創作展

平成19年11月1日(木)~平成20年1月18日(金)

| | |
|--------|---|
| ◆募集の内容 | 過去2年以内に制作された15分以内のビデオ作品。(DVD、DV、VHS、S-VHS、Cカセット、8ミリ)とし、制作にあたっての技法及び機器は問いません。*ハイビジョンに関してはDVD形式にして応募してください。 |
| ◆表彰 | 金賞(2点) 賞状・盾 銀賞(2点) 賞状・盾 優秀賞(4点) 賞状・盾 奨励賞(若干名) 賞状 ※ 入賞は1人1点とします。 |
| ◆著作権処理 | 入賞作品は、総合教育センター情報・視聴覚センターで一般貸出しを行います。必要な著作権処理の手続きを済ませてください。 |
| ◆問合せ先 | 川崎市総合教育センター 情報・視聴覚センター 044-844-3712 詳細はセンタートップページの「わが町かわさき映像創作展」をご覧ください。 |

逆転の発想というものを私が好きなのは、それがうまく当てはまったときに、まるで将棋の鬼手のようににそれまでの常識を覆し、めぐるめく輝きとともに新たな価値観を顕わにして自分に跳ね返ってくるからです。その一例として、高校時代から大好きであった言葉を紹介したいと思います。

「運動は不可能なり」／ある賢者がこう言ったとき／相手は黙って歩いてみせた。／賢者はすっかり閉口したという。／これは愉快な話だが／どうも私は腑におちない。／太陽が日々廻るのに／人々はガリレオを讃える。

(ブーシキン)(H)

